

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文中から読解の根拠を見付けることに苦手意識をもつ生徒が多い。 ・作文や文章構成を工夫することに苦手意識をもつ生徒が見受けられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の意見や考えの根拠を引き出すような発問やワークシートの作成を心がける。 ・課題図書継続により様々な文章に触れ、自身の文章作成に生かす。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・教科の学習内容に興味・関心が高い生徒と、そうではない生徒とでは、基礎学力に格差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心を引き起こす教材を提示する。自分の実生活と関連づけて考察するような授業を展開する。また、ふり返しシート等を活用して主体的に学ぶ意欲の向上に努める。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に苦手意識がある生徒もいるため、学習に意欲をもてない状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から情報を読み取り、数学的に表現する面白さに気付かせる。 ・言語活動を取り入れ、自分の考えを論理的に説明させる。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・仮説を、既習事項やこれまでの生活経験と結びつけて、論理的に示すことを難しく感じる生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容と単元のまとまりとして捉えるのではなく、幅広い分野でそれぞれリンクできるようにする。(関連付ける力の向上を目指す) ・データを丁寧に解析できる力をつける。 	
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識・技能の習得や、表現技能の向上、主体的に鑑賞する力が不十分である。 ・授業規律を向上させる。 ・主体的に鑑賞する力が課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内評価と励ましなどの声かけを行う。 取り組みやすいワークシートの作成 ・生徒同士による教え合いや、評価を工夫する。 ・曲の分析や批評のためのワークシートを作成する。 	
美術	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して丁寧に作業する生徒が多い。自ら工夫して独創的な発想をする力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発想には正解や不正解というものがないことを伝え、安心して自由に発想させる。浮かんできたアイデアを聞き、具体的なアドバイスをを行う。 	
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な運動技能の習得 ・深い学びへの導き ① 自己分析 チーム分析力の向上 ② 自身の健康や安全、体力への意識 	単元別評価の工夫 ➡ワークシートの充実 自己分析力の向上 ICT機器の活用	
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の定着や技能の向上が課題である。 ・支援が必要な生徒への配慮を充実させる。 	(技術) ・授業内容の確認や学習の振り返りに、タブレットPCやICT機器を活用し、学習内容の定着をおこなう。机間巡視をおこない支援の必要な生徒への個に応じた配慮をおこなう。 (家庭) ・ワークノートを活用し学習内容を確認し、家庭生活の自立に向けて技能を向上させる。	
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会的な話題について書かれた文章の要点を捉える力」と「聞いたり読んだりしたことについて、自分が考えたことや感じたこと、その理由などを書く力」が十分に身につけていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力をつけるために、授業内でも繰り返し復習をする。 ・演習問題に取り組む機会を増やす。 ・自分の考えや感想を表すための基礎的な表現を身につけさせる。 	

